

平成 30(2018)年度
東京大学大学院新領域創成科学研究科
博士後期課程学生募集要項
**Guidelines for Applicants to the 2018
Doctoral Course
Graduate School of Frontier Sciences
The University of Tokyo**

東京大学大学院
新領域創成科学研究科

平成 30(2018)年度 東京大学大学院新領域創成科学研究科 博士後期課程学生募集要項

教育研究の目的

東京大学大学院新領域創成科学研究科は、東京大学既存のすべての部局の全面的な協力のもと平成10年に新設された、修士・博士課程のみの大学院（独立研究科）です。本研究科は、従来の学問分野とは異なる新しい視野から、現代の科学技術が前提としてきた枠組みそのものの中に内在する重要な諸問題の解決に挑戦する事を目的としています。これまでの科学は専門性を深く探求することに専念したために、お互いの関係性が見えにくい場合も多く、いくつかの弊害も出てきました。相互関係性を深く認識し合うとともに、既存の分野を超えた新しい受け皿を作ることにより、現実に即した本質的な英知に至ることが可能になると考えます。この新たな領域に果敢に挑戦するため、本研究科では「学融合」を基本理念に、既存の個別学問分野から派生する未開拓の領域を研究・教育の対象とし、領域横断的な視点と高度な問題解決能力を有する「国際性豊かな」人材を育成しています。

<https://www.k.u-tokyo.ac.jp/>

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1. 求める学生像

東京大学大学院新領域創成科学研究科博士課程は、自立して研究を行う強い意欲を持ち、将来、多様な分野を融合し、卓越した研究成果を創出できる学生を求めます。

2. 入学者選抜においては、以下が問われます。

- ・研究経験
- ・志望分野に関する専門知識
- ・研究成果を英語で発信する能力
- ・志望分野において、先駆的な研究課題を自ら設定し、解決する能力
- ・多様な分野を能動的に学ぶ意欲

はじめに

この要項の目的と役割

この募集要項は、東京大学大学院新領域創成科学研究科博士後期課程学生募集に当たっての基本事項をまとめたものです。ここに記載する基本事項に加えて、各専攻（注）が独自に求める事項や入試の実施方法等、詳細については、各専攻の入試案内書あるいは関連ウェブサイト上に記載されていますので、確認してください。

<https://www.k.u-tokyo.ac.jp/exam/>

注 本研究科には11専攻がありますが、そのほかに独自の入試を行う教育プログラム（サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム）があります。本要項で単に専攻（あるいは各専攻）と記載した場合は、サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムを含めません。

1. 入学時期

平成30（2018）年4月

なお、専攻により入試日程Aにおいて平成29(2017)年9月入学、入試日程Bにおいて平成30(2018)年9月入学を認める場合がありますので、専攻の入試案内書を参照してください。

入試日程Aにおいて平成 29 (2017) 年 9 月入学を希望する者は、下記 2 .出願資格の(1)~(3)の「平成 30(2018)年 3 月 31 日」を「平成 29(2017)年 9 月 21 日」と読み替えてください。ただし、平成 29(2017)年 9 月 22 日から 30 日までに下記 2 .出願資格のいずれかに該当する見込みの者は、出願資格を認める場合があるので、事前に本研究科教務係まで問い合わせてください。

入試日程Bにおいて平成 30 (2018) 年 9 月入学を希望する者は、下記 2 .出願資格の(1)~(3)の「平成 30 (2018) 年 3 月 31 日」を「入学日の前日」と読み替えてください。

2. 出願資格

(1) 一般入試

- ① 日本の大学において修士の学位又は専門職学位を得た者及び平成 30 (2018) 年 3 月 31 日^(注5)までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者^(注1)
- ② 大学改革支援・学位授与機構により、修士の学位を授与された者及び平成 30 (2018) 年 3 月 31 日^(注5)までに授与される見込みの者
- ③ 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 30(2018)年 3 月 31 日^(注5)までに授与される見込みの者^(注2)
- ④ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 30 (2018) 年 3 月 31 日^(注5)までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 30(2018)年 3 月 31 日^(注5)までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、上記出願資格④の指定を受けた教育施設又は国際連合大学において、大学院設置基準第 16 条の 2 に規定する博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び平成 30 (2018) 年 3 月 31 日^(注5)までに合格する見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者^(注3)
- ⑦ 日本の大学を卒業又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者で、日本又は外国の大学若しくは研究所等において 2 年以上研究に従事した者及び平成 30 (2018) 年 3 月 31 日^(注5)までに 2 年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者^{(注1)(注2)(注3)}
- ⑧ 個別の入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、平成 30 (2018) 年 3 月 31 日^(注5)において 24 歳に達しているもの^(注3)

ただし、大学院に在籍している者は、個別の入学資格審査の対象となりません。

(2) 社会人等特別選抜

企業・官公庁・団体等に在職している者^(注4)で、(1)の①~⑧のいずれかの要件を満たす者は、社会人等特別選抜を受験することができます。

(3) 外国人等特別選考

以下のいずれかの要件を満たす者は、外国人等特別選考を受験することができます。ただし、外国人であっても、日本において、後期中等教育(日本における高等学校に相当)を修了した者、大学教育を修了した者、又は修士の学位に相当する学位を授与された者〔平成 30 (2018) 年 3 月 31 日^(注5)までに修了見込みの者を含む〕は一般入試を受験しなければなりません。

- ① 外国において後期中等教育及び大学教育を修了し、かつ修士の学位に相当する学位を授与された者、又は平成 30 (2018) 年 3 月 31 日^(注5)までに授与される見込みの者
- ② 外国において後期中等教育及び大学教育を修了した者、又は外国において学校教育におけ

る16年の課程を修了した後、外国の大学若しくは研究所等において2年以上研究に従事した者及び平成30(2018)年3月31日^(注5)までに2年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者^(注3)

③ 次の各号に掲げる出願資格の全てに該当する者^(注3)

ア. 大学院の修士課程に相当する教育施設の卒業者(修了者)等で、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者

イ. 外国において教育を受けた期間が、外国人等特別選考の出願資格を有するものと本研究科が認められた者

ウ. 平成30(2018)年3月31日^(注5)において24歳に達している者

(注1) (1)の①、⑦の「日本の大学」とは、学校教育法83条の定める日本国内の大学を示す。

(注2) (1)の③、⑦には外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注3) (1)の⑥～⑧(2)で(1)の⑥～⑧にあたる者を含む)及び(3)の②、③の資格により出願しようとする者は、出願前に個別の入学資格審査を行います。

審査の結果、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた後に、出願を受け付け、受験を許可しますので、希望者は予め本研究科教務係に問い合わせ、指示された書類を郵送してください。申請期間は別表2(A-1, B-1)のとおりです。

(注4) 在職の要件など、専攻によって異なります。

(注5) 平成29(2017)年9月入学を希望する者は、「平成30(2018)年3月31日」を「平成29(2017)年9月21日」と読み替えてください。ただし、平成29(2017)年9月22日から30日までに2.出願資格のいずれかに該当する見込みの者は、出願資格を認める場合があるので、事前に本研究科教務係まで問い合わせてください。平成30(2018)年9月入学を希望する者は、「平成30(2018)年3月31日」を「入学日の前日」と読み替えてください。

3. 入試の種類、募集人員

入試日程、及び専攻毎に異なります。別表1を参照してください。

4. 選抜方法

入学者は、筆記試験、口述試験、修士の学位論文、又はこれに代わるものについての試験、提出書類等を総合的に判定し選抜します。

5. 出願手続

(1) 出願期間 出願期間は、別表2(A-3, B-3)を参照してください。

(2) 出願は郵送に限ります。本要項に添付する封筒に「提出書類等」を一括して入れ、必ず速達書留郵便で発送してください。なお、出願書類を持参しても受け付けません。

(3) 宛先 〒277-8561 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号
東京大学大学院新領域創成科学研究科 教務係
電話 04-7136-4092

(4) 受験票 受験票は別表2(A-5, B-5)の日程で直接、本人に送付します。別表2(A-5, B-5)「摘要」欄記載の期日までに受験票が到着しない場合は、必ず受験票を受領していないことを本研究科教務係に連絡してください。

6. 併願の禁止

次のような出願はできません。

- (1) 本研究科内の2つ以上の専攻（あるいはサステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムと他の専攻）に同時に出願すること。
- (2) 入試日程Aに出願して合格した者（第1次試験合格者を含む）が入試日程Bに出願すること。
- (3) 同一日程において博士後期課程の一般入試、社会人等特別選抜及び外国人等特別選考のいずれか2つ以上の入試に重複して出願すること。

7. 試験期日及び場所

- (1) 試験に関連する日程は、別表2（A-8, A-12, B-7, B-11）を参照してください。
なお、専攻によっては、入試日程A（4月入学）の第1次試験と第2次試験を8月に、入試日程B（9月入学）の第1次試験と第2次試験を2月に、同時に行う場合があります。詳しくは各専攻の入試案内書、及び関連ウェブサイトを確認してください。
- (2) 試験会場については、受験票送付時に通知します。なお、研究科、及び各専攻のウェブサイトでも確認してください。
- (3) 第1次試験合格者にのみ、第2次試験の期日等を通知します。

8. 提出書類

- (1) 提出書類は全て、日本語又は英語で作成してください。これら以外の言語で記載されている証明書等には、和訳又は英訳を添付してください。
- (2) 書類の種類、及び注意事項は別表3を参照してください。

9. TOEFL、TOEIC、IELTS のスコア

専攻により、TOEFL、TOEIC 又は IELTS のスコアシートの提出が必要な場合があります。

TOEFL、TOEIC 及び IELTS のスコアシートは、入試日程Aの場合は平成27(2015)年9月1日以降に受験したもの、入試日程Bの場合は平成28(2016)年2月1日以降に受験したものでなければなりません。

- (1) 提出期限は、別表2（A-4, A-6, A-7, B-4, B-6）を参照してください。
- (2) 提出方法

【TOEFL スコアシート】

TOEFL テストには、[1] TOEFL-PBT、[2] TOEFL-iBT、[3] TOEFL-ITP（平成30(2018)年度本研究科入学試験以外の団体で受験したもの）、がありますが、[1] [2] のスコアのみ有効とします。TOEFL のスコアシートについては、下記2点の両方を本研究科へ提出してください。

- ① ETS (Educational Testing Service) から本人宛に送付された“Test Taker Score Report”のコピー
- ② ETS から本研究科宛に直送される“Official Score Report”

①の“Test Taker Score Report”のコピーについては、(1)の提出期限までに研究科宛に提出されたものを有効とします。②の“Official Score Report”の提出にあたっては、ETSに東京大学大学院新領域創成科学研究科宛「DI (Designated Institution) コード：“8001”」(Department コード：“99”)へOfficial Score Reportを(1)の提出期限までに届くように送付請求してください。これからTOEFLの受験をする場合はその受験時に請求してください。

なお、ETSから研究科へ送付される“Official Score Report”は海外便で送付されてくるため、請求してから研究科に届くまでにはかなりの日数を要するので、請求の手続きは(1)の提出期限から6週間以上前に行うことをお勧めします。また、TOEFLを複数受験したことにより、ETSから“Official Score Report”が複数枚研究科に送付された場合は、①と同一のスコアを採用します。

11. 注意事項

- (1) 出願手続後は、どのような事情があっても書類の変更は認めません。また、提出された書類の返却もしません。
- (2) 検定料は、出願手続後は、どのような事情があっても払戻しをしません。
- (3) 入学料は、入学手続後は、どのような事情があっても払戻しをしません。
- (4) 障害等のある者で、受験及び修学上特別な配慮を希望する場合は、別表2 (A-2, B-2)の期限までに本研究科教務係に申し出てください。
- (5) 外国人は、入学までに「出入国管理及び難民認定法 (昭和26年政令第319号)」による在留資格を取得しなければなりません。
- (6) 企業、官公庁、団体等に在職のまま大学院に入学を希望する者は、在学期間中、学業に専念させる旨の「所属長の承諾書 (様式任意)」を入学手続の際に提出してください。
- (7) 本研究科は、出願に当たって知り得た受験者の氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜 (出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うためにだけ利用します。
また、入学した者については、同個人情報を①教務関係 (学籍、修学等)、②学生支援関係 (健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うためにだけ利用し、これ以外の目的に利用することはありません。
- (8) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがあります。
- (9) 出願書類における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがあります。
- (10) 自然災害その他の事情により、日程等を変更することがあります。その場合は本研究科ウェブサイト等で発表します。

平成29 (2017) 年4月

東京大学大学院新領域創成科学研究科
〒277-8561 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号
(担当事務部：東京大学大学院新領域創成科学研究科教務係)
Tel : 04-7136-4092
<https://www.k.u-tokyo.ac.jp/>

別表1 入試の種類、募集人員等

【入試日程A】

下の表で専攻名が無い場合は、当該の入試による募集を行いません。【注1】、【注2】

入試の種類	専攻名	募集人員	試験の種類				
			筆記試験 (英語を除く)	外国語(英語) の試験タイプ 〔備考(3)参照〕	口述 試験	修士論文又は それに代わる ものの審査	書類 審査 のみ
一般入試	物質系	18名	○	E1、※4	○	○	—
	先端エネルギー工学	12名	○※4	E2、※4	○	○	—
	複雑理工学	11名	—	E4、※4	○	○	—
	先端生命科学	23名	—	E4、※4	○	○	—
	メディカル情報生命 (メディカルサイエンス群) (バイオ知財コース)	24名	○【注1】、※4	E4、※4	○	○	—
	メディカル情報生命 (情報生命科学群)		○【注1】、※1	E3、※1	○	○	—
	自然環境学	若干名	—	E9、※4	○	○	—
	海洋技術環境学	7名	○※4	E3、※4	○	○	—
	環境システム学	8名	○	E2、※4	○	○	—
	人間環境学	16名	—	E4、※4	○	○	—
	社会文化環境学	14名	○【注1】、※2	E4、※4	○	○	—
	国際協力学	10名	—	—	○	○	—
	サステナビリティ学 グローバルリーダー養成 大学院プログラム 【注2】	〔備考(2)参 照〕	—	E10、※3	○	○	—
社会人等 特別選抜	物質系	若干名	—	E1、※4	○	○	—
	先端エネルギー工学	若干名	—	E3、※4	○	○	—
	複雑理工学	若干名	—	E3、※4	○	○	—
	先端生命科学	若干名	—	E4、※4	○	○	—
	自然環境学	若干名	—	E9、※4	○	○	—
	海洋技術環境学	若干名	—	E3、※4	○	○	—
	環境システム学	若干名	—	E3、※4	○	○	—
人間環境学	若干名	—	E9、※4	○	○	—	
外国人等 特別選考	物質系	若干名	○	E1	○	○	—
	先端エネルギー工学	若干名	○	E4	○	○	—
	先端生命科学	若干名	—	E4	○	○	—
	自然環境学	若干名	—	E9	○	○	—
	海洋技術環境学	若干名	○	E3	○	○	—
	環境システム学	若干名	○	E4	○	○	—
	人間環境学	若干名	—	E8	—	—	○
国際協力学	若干名	—	E8	—	—	○	
合計(入試日程Bと合 せて)	計163名 〔備考(1)参照〕						

【注1】 メディカル情報生命専攻と社会文化環境学専攻では、外国人等特別選考を行いませんが、希望により、一般入試での設問は全て日英2ヵ国語でなされ、解答も日英2ヵ国語のどちらでもできます(当該専攻の入試案内書参照)。

【注2】 サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムでは、外国人等特別選考を行いませんが、一般入試を英語のみで実施します。

【入試日程B】

下の表で専攻名が無い場合は、当該の入試による募集を行いません。（【注3】、【注5】）

入試の種類	専攻名	募集人員	試験の種類				
			筆記試験 (英語を除く)	外国語(英語) の試験タイプ 〔備考(3)参照〕	口述 試験	修士論文又は それに代わる ものの審査	書類 審査 のみ
一般入試	複雑理工学	若干名	—	E8、※4	○	○	—
	先端生命科学	若干名	—	E8、※4	○	○	—
	メディカル情報生命 (メディカルサイエンス群) (バイオ知財コース)	若干名	○【注3】、※4	E8、※4	○	○	—
	メディカル情報生命 (情報生命科学群) 【注4】		—	—	○	○	—
	自然環境学	20名	—	E9、※4	○	○	—
	海洋技術環境学	若干名	○※4	E9、※4	○	○	—
	人間環境学	若干名	—	E9、※4	○	○	—
	国際協力学	若干名	—	—	○	○	—
	サステナビリティ学 グローバルリーダー養成 大学院プログラム 【注5】	〔備考(2)参 照〕	—	E11、※3	○	○	—
社会人等 特別選抜	複雑理工学	若干名	—	E9、※4	○	○	—
	先端生命科学	若干名	—	E8、※4	○	○	—
	自然環境学	若干名	—	E9、※4	○	○	—
	海洋技術環境学	若干名	—	E9、※4	○	○	—
	人間環境学	若干名	—	E9、※4	○	○	—
外国人等 特別選考	物質系	若干名	○	E8	○	○	—
	先端エネルギー工学	若干名	—	E8	○	○	—
	先端生命科学	若干名	—	E8	○	○	—
	自然環境学	若干名	—	E9	○	○	—
	海洋技術環境学	若干名	○	E9	○	○	—
	環境システム学	若干名	○	E8	○	○	—
	人間環境学	若干名	—	E8	—	—	○
	国際協力学	若干名	—	E8	—	—	○

【注3】 メディカル情報生命専攻（メディカルサイエンス群）、（バイオ知財コース）では、外国人等特別選考を行いませんが、希望により、一般入試での設問は全て日英2ヵ国語でなされ、解答も日英2ヵ国語のどちらでもできます（当該専攻の入試案内書参照）。

【注4】 本専攻の修士課程を修了した者又は修了見込みの者に限り実施しますが、入試日程Aに出願した者は出願することはできません。

【注5】 サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムでは、外国人等特別選考を行いませんが、一般入試を英語のみで実施します。

※1 本専攻（又はプログラム）修士課程を修了した者又は修了見込みの者については、この試験を省略します。

※2 本研究科環境学研究系（平成18年3月以前の修了者については、環境学専攻）を修了した者又

は修了見込みの者については、この試験を省略します。

※ 3 本研究科を修了した者又は修了見込みの者については、この試験を省略します。

※ 4 本学大学院修士課程を修了した者又は修了見込みの者については、この試験を省略します。

備考

- (1) 受験者の成績によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合があります。
- (2) サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムの募集人員については、環境学研究系の6専攻（自然環境学専攻、海洋技術環境学専攻、環境システム学専攻、人間環境学専攻、社会文化環境学専攻及び国際協力学専攻）の定員の枠内で総合的に判断して決定されます。
- (3) 表中に記号で示す外国語（英語）の試験タイプは以下のとおりです。
 - E1 TOEFL-ITP を受験。
 - E2 ① TOEFL-ITP を受験、② TOEFL のスコアシートを提出、③ TOEIC のスコアシートを提出。
（①～③のうち1つ以上を選択。ただし、出願時に社会人の者のみ「TOEIC のスコアシートを提出」を選択することができる。）
 - E3 ① TOEFL-ITP を受験、② TOEFL のスコアシートを提出、③ TOEIC のスコアシートを提出。
（①～③のうち1つ以上を選択。）
 - E4 ① TOEFL-ITP を受験、② TOEFL のスコアシートを提出。（①②のうち1つ以上を選択。）
 - E5 専攻が準備する外国語（英語）筆記試験を受験。
 - E6 専攻が準備する外国語（英語）筆記試験を受験、前記筆記試験に加えて TOEFL のスコアシート又は TOEIC のスコアシートを提出も可。
 - E7 ①専攻が準備する外国語(英語)筆記試験を受験、② TOEFL のスコアシートを提出、③ TOEIC のスコアシートを提出。（①～③のうち1つ以上を選択。）
 - E8 TOEFL のスコアシートを提出。
 - E9 ① TOEFL のスコアシートを提出、② TOEIC のスコアシートを提出。（①②のうち1つ以上を選択。）
 - E10 ① TOEFL-ITP を受験、② TOEFL のスコアシートを提出、③ IELTS のスコアシートを提出。
（①～③のうち1つ以上を選択。）
 - E11 ① TOEFL のスコアシートを提出、② IELTS のスコアシートを提出。（①②のうち1つ以上を選択。）

別表2 入学試験関連日程

【入試日程A】

番号	日程	事項	摘要
A-1	平成29(2017)年 5月18日(木)～ 24日(水)(必着)	個別の入学資格審査申請期間	出願資格(1)⑥～⑧該当者、(2)で(1)の⑥～⑧ 該当者、(3)②③該当者のみ。他の資格者は申 請不要。
A-2	5月24日(水)まで	受験、及び修学上の特別な配慮の申し 出	障害等のある者で、受験及び修学上特別な配 慮を希望する者
A-3	6月15日(木)～ 21日(水)	出願期間	6月26日(月)までに到着したもので、6月 21日以前の消印があるものは有効。
A-4	6月26日(月) (必着)	TOEFLのスコアシート提出期限(国 際協力学)	TOEFLスコアシートについては、“Official Score Report”も同期限までにETSから研究 科に届くよう依頼すること。 ※“Test Taker Score Report”のコピーは出 願書類に同封のこと。
A-5	7月中旬	受験票、日程・試験場一覧発送	7月18日(火)までに届かない場合は、教務 係へ連絡のこと。
A-6	7月14日(金) (必着)	TOEFL、TOEICのスコアシート提出 期限(先端生命科学、メディカル情報 生命、自然環境学)	TOEFLスコアシートについては、“Official Score Report”も同期限までにETSから研究 科に届くよう依頼すること。
A-7	8月2日(水)(必着)	TOEFL、TOEIC、IELTSのスコア シート提出期限(先端エネルギー工学、 複雑理工学、海洋技術環境学、環境シ ステム学、人間環境学、社会文化環境 学、サステナビリティ学グローバル リーダー養成大学院プログラム)	TOEFLスコアシートについては、“Official Score Report”も同期限までにETSから研究 科に届くよう依頼すること。 IELTSスコアシートについては、“Test Report Form”も同期限までに試験実施機関 から研究科に届くよう依頼すること。
A-8	8月上～下旬	I：第1次試験(筆記、口述、面接等) を実施 II：第1次試験と第2次試験(修士論 文審査、口述等)を同時に実施	日時、試験の内容、及びI、IIのいずれかは 出願専攻の入試案内書等で確認のこと。
A-9	9月4日(月)	合格者の発表	午前10時に新領域創成科学研究科掲示板(新 領域基盤棟)に掲示。I：第1次試験合格者 (A-12で第2次試験を行う者)へは1次合格 通知、II：第2次試験合格者(平成29年9月 入学)へは入学許可書類を発送。
A-10	9月13日(水)～ 14日(木)	入学料の納付、及び入学手続	平成29年9月入学者対象
A-11	12月中旬	第2次試験日程・試験場一覧発送	通知方法は専攻毎に異なる。
A-12	平成30(2018)年 1月～2月中旬	第2次試験(修士論文審査、口述等) (第2次試験を2月に行う専攻)	試験の内容は出願専攻の入試案内書等で確認 のこと。
A-13	2月16日(金)	第2次試験合格者の発表	午前10時に新領域創成科学研究科掲示板(新 領域基盤棟)に掲示。平成30年4月入学者 (A-9での発表者を含む)に入学許可書類発 送。
A-14	3月6日(火)～ 8日(木)	入学料の納付、及び入学手続	平成30年4月入学者対象

【入試日程B】

番号	日程	事項	摘要
B-1	平成 29 (2017) 年 10 月 17 日 (火) ~ 23 日 (月) (必着)	個別の入学資格審査申請期間	出願資格 (1) ⑥~⑧該当者、(2)で(1)の⑥~⑧ 該当者、(3) ②③該当者のみ。他の資格者は申 請不要。
B-2	10 月 23 日 (月) まで	受験、及び修学上の特別な配慮の申し 出	障害等のある者で、受験及び修学上特別な配 慮を希望する者
B-3	11 月 21 日 (火) ~ 11 月 28 日 (火)	出願期間	12 月 1 日 (金) までに到着したもので、11 月 28 日以前の消印があるものは有効。
B-4	11 月 28 日 (火) (必着)	TOEFL、IELTS のスコアシート提出 期限(国際協力学、サステイナビリティ 学グローバルリーダー養成大学院プロ グラム)	TOEFL スコアシートについては、“Official Score Report” も同期限までに ETS から研究 科に届くよう依頼すること。 ※ “Test Taker Score Report” のコピーは出 願書類に同封のこと。 IELTS スコアシートについては、“Test Report Form” も同期限までに試験実施機関 から研究科に届くよう依頼すること。 ※ “Test Report Form” のコピーは出願書類 に同封のこと。
B-5	12 月中~下旬	受験票、日程・試験場一覧発送	平成 30 (2018) 年 1 月 5 日 (金) までに届か ない場合は、教務係へ連絡のこと。
B-6	平成 30 (2018) 年 1 月 23 日 (火) (必着)	TOEFL、TOEIC のスコアシート提出 期限 (物質系、先端エネルギー工学、 複雑理工学、先端生命科学、メディカル 情報生命、自然環境学、海洋技術環 境学、環境システム学、人間環境学)	TOEFL スコアシートについては、“Official Score Report” も同期限までに ETS から研究 科に届くよう依頼すること。
B-7	1 月~2 月中旬	I : 第 1 次試験(筆記、口述、面接等) を実施 II : 第 1 次試験と第 2 次試験 (修士論 文審査、口述等) を同時に実施	日時、試験の内容、及び I、II のいずれかは 出願専攻の入試案内書等で確認のこと。
B-8	2 月 16 日 (金)	合格者の発表	午前 10 時に新領域創成科学研究科掲示板(新 領域基盤棟)に掲示。I : 第 1 次試験合格者 (B-11 で第 2 次試験を行う者) へは 1 次合格 通知、II : 第 2 次試験合格者(平成 30 年 4 月 入学者) へは入学許可書類を送付。
B-9	3 月 6 日 (火) ~ 8 日 (木)	入学料の納付、及び入学手続	平成 30 年 4 月入学者対象
B-10	7 月	第 2 次試験日程・試験場一覧発送	通知方法は専攻毎に異なる。
B-11	8 月	第 2 次試験 (修士論文審査、口述等) (第 2 次試験を 8 月に行う専攻)	試験の内容は出願専攻の入試案内書等で確認 のこと。
B-12	9 月	第 2 次試験合格者の発表	午前 10 時に新領域創成科学研究科掲示板(新 領域基盤棟)に掲示。平成 30 年 9 月入学者 (B-8 での発表者を含む) に入学許可書類送 付。
B-13	9 月	入学料の納付、及び入学手続	平成 30 年 9 月入学者対象

別表3 提出書類一覧

書類の種類	提出者	摘要
(1) 入学願書	全員	本要項に添付する書式に所要事項を記入してください(両面)。
(2) 写真票A (3) 写真票B (4) 受験票	全員	所要事項を記入し、最近3ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽のカラー写真を所定の場所に貼付してください(縦4cm×横3cm)。写真の裏面には、志望専攻・名前を記入してください。
(5) 検定料証明書 貼付台紙	全員 (検定料支払い免除者も台紙は記入の上、提出すること)	<p>ア. 検定料</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 30,000円 ○ 10,000円(人間環境学専攻の外国人等特別選考及び国際協力学専攻の外国人等特別選考のみ) <p>ただし、下記の者について検定料支払いは不要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学において平成30(2018)年3月(平成29(2017)年9月入学の場合は平成29(2017)年9月、平成30(2018)年9月入学の場合は入学日の前日)までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みで、引き続き博士後期課程へ入学を希望する者 ・ 外国人出願者のうち、日本国政府(文部科学省)奨学金留学生 <p>ただし、本学に在学中(研究生を含む)の者以外は、日本国政府(文部科学省)奨学金留学生である証明書を提出してください。</p> <p>イ. 支払方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 最寄りの金融機関から振り込む場合(郵便局・ゆうちょ銀行からは振込できません) <p>所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、振り込んでください(ただし、ATM、インターネット等は利用しないでください)。振り込みの際、振込金受取書(B票)及び振込金受付証明書(C票)を受け取り、振込金受付証明書(C票)を所定欄に貼り付けてください。振込金受取書(B票)は領収書なので、大切に保管してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オンラインで支払いを行う場合 ・ コンビニエンスストアで支払う場合 <p>携帯電話又はパソコンで事前申し込み(https://e-shiharai.net/)を行い、画面の指示に従って必要事項を入力し、番号を取得してください。次に各コンビニエンスストアにて支払を行い、入学検定料・選考料取扱明細書の収納証明書部分を切り取り、所定欄に貼り付けてください。</p> <p>なお、詳細は本研究科ウェブサイトの「検定料の払込方法」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クレジットカードで支払う場合 <p>携帯電話又はパソコンで事前申し込み(https://e-shiharai.net/)を行い、画面の指示に従って必要事項を入力し、カード決済手続を行ってください。次に印刷した申込内容照会結果を、所定欄に貼り付けてください。</p> <p>なお、詳細は本研究科ウェブサイトの「検定料の払込方法」を参照してください。</p> <p>https://www.k.u-tokyo.ac.jp/exam/img/e-shiharai.pdf</p>
(6) 出身大学、及び大学院の成績証明書	全員 (本研究科修士課程を修了・修了見込の者は不要。また、提出を要さない専攻もある。志望する専攻の入試案内書で確認すること)	学部(教養課程を含む)、及び修士課程(博士前期課程)/専門職学位課程の成績を証明するもの。編入学の経歴がある場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出してください。高等専門学校専攻科出身者は、学科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。コピーは認められません。原本を提出できない場合は、出願前に新領域創成科学研究科教務係まで問い合わせてください。

書類の種類	提出者	摘要
(7) 出身大学院の 修了証明書	既に大学院を修了した者 (本研究科修士課程 修了者は不要)	コピーは認められません。原本を提出できない場合は、出願前に新領域創成科学研究科教務係まで問い合わせてください。修了見込証明書の提出は不要です(専攻から提出指示のある場合を除く)。
(8) 返信用封筒	全員	本研究科所定の封筒に出願者本人のあて名を記入し、420円分の切手を貼ってください(1通)。ただし、発送先が海外である場合は、EMS(国際スピード郵便)での送付に必要な料金分のIRC(国際返信用切手)を同封してください。
(9) あて名ラベル	全員	合格通知書・入学手続き書類を受領できる住所を記入してください。
(10) 志望調査票	全員	志望専攻の入試案内書に添付されている所定の用紙又は本研究科ウェブサイトよりダウンロードした志望専攻の所定の様式に、所要事項を記入してください。
(11) 学業・職務両立 計画書	企業・官公庁・団体等に在職する者で、 在職の身分のまま入学を希望する者	企業・官公庁・団体等に在職する者で、在職のまま入学し、研究を行うことを予定している者は、学業と職務を両立させることについての計画を提出してください(A4判、様式任意)。
(12) 住民票	現に日本国に在住している外国人のみ	外国人登録を行った市区町村役所で交付申請を行ってください。外国人登録証、在留カードのコピーは認められません。
(13) その他	該当者	志望専攻により上記以外の書類(日本語能力証明書、TOEFLスコアシート、研究計画書等)の提出を求めることや、提出を免除することがあります。各専攻の入試案内書で確認してください。